

環境学習みえ

2011年12月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行

表紙の人／（右から）加納 康嗣さん、栢部 宗嗣さん、米田 保幸さん（伊賀ふるさとギフトネットワーク） 2011 No.47

冬

ギフチヨウ

三重の天然記念物④



子どもエコクラブ
センターニュース
・今月の企画展示
・講座のご案内ほか

上野市四十九町
極楽食品
TEL 09194

ギフチョウ

今年度の「環境学習みえ」では、三重県内で指定されている天然記念物の特集してきました。最後となる冬号では、平成21年2月名張市の天然記念物に指定された「ギフチョウ」をご紹介します。

春先のごく短い間にだけ姿を見せる「春の女神」と呼ばれる蝶です。

「ギフチョウ」は日本固有種で本州の東北～中国地方に分布しています。三重県内においては、伊賀地方（名張市・伊賀市）の一部の地域でしか見られません。三重県と環境省の絶滅危惧種に指定されている蝶です。

写真：アセビとギフチョウ

お話を伺った人



「伊賀ふるさとギフチョウネットワーク」

代表 か の う やすつぐ
加納 康嗣さん

平成22年度
「みえ環境活動賞」受賞

名張市天然記念物「ギフチョウ」

およそ50年ほど前、伊賀地方でギフチョウはそれほど珍しい昆虫ではなく、人々の暮らしのそばに「里山の生き物」でした。

しかし、1980年代になると、全国から集まる採集者によるギフチョウ乱獲が目立つようになってきました。「このままでは人の手によって、伊賀地方のギフチョウが絶滅してしまうのでは…」と感じた加納さんは平成11年1月、「伊賀ふるさとギフチョウネットワーク」を発足させ、保護活動を開始しました。

そして平成21年には、名張市内の八幡・夏秋地区のギフチョウが市の天然記念物に指定されました。名張市では同地域をギフチョウの保全区域とし、採集者による捕獲などの生息に影響を及ぼす行為について、市の条例で禁止しています。

そこで今回は、「伊賀ふるさとギフチョウネットワーク」の加納さんに伊賀地方に残るギフチョウの魅力とこれまでの保護の取組についてお話を伺いました。

ギフチョウの生活史

『ギフチョウ観察記録』スケッチ：吉田 薫さん

春
夏・秋冬
翌春



4月中旬～

さんらん産卵

卵

カンアオイ類の葉の裏側に数個～10個の卵を固めて産みます。卵はまるで真珠のようです。

2・3週間後

ふか 孵化

3日目

れい 1令幼虫
体長約4ミリ

6日目

2令幼虫
体長約5～8ミリ

9日目

3令幼虫
体長約15～20ミリ

14日目

4令幼虫
体長約30～35ミリ

21日目

5令幼虫
体長約35～40ミリ

30日目

6月中旬～
さなぎ 蛹 体長約19ミリ

地面の落ち葉や樹の根っこ部分などの安全な場所で糸を出して蛹になる。

蛹の中での成長は気温や日の長さなどの条件に左右される。

4月上旬～
せい 成虫

長い蛹の期間を経て、翌春に美しい姿を見せてくれます。

幼虫の期間は約1か月間

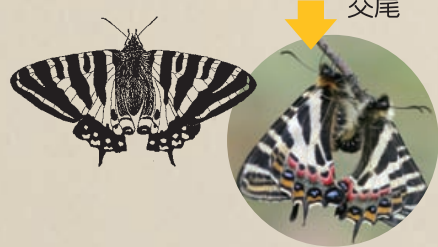
5令幼虫になるまで4回脱皮します

ようか 蛹化

夏と冬は休眠して秋は成長が進みます

うか 羽化

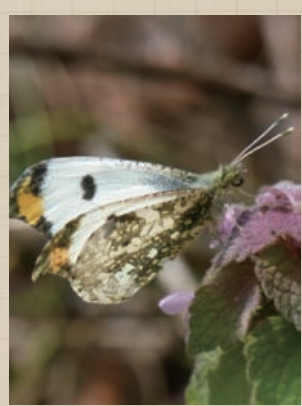
こうび 交尾



「春の女神」ギフチョウ
ギフチョウは明治時代、岐阜県で発見されたことから、その名前があります。夏・秋・冬と一年の多くを蛹で過ごし、春の桜が咲く時期、蛹から羽化します。落ち葉や枯草の下から、はい出してきたばかりの成虫はハネ(翅)を広げるための場所を探して、いそがしく歩きます。ハネは黄と黒色の縦じま模様で、後翅の外側には青や橙、赤色の斑紋が入っているのが特徴です。
成虫の寿命は短く、約2週間ほどしか生きられません。この短い命の間に、翌年の春へと世代をつないでいきます。



セセリチョウ科
ミヤマセセリ



シロチョウ科
ツマキチョウ

ギフチョウのように春の短い間だけ姿を見せる生き物は「スプリング・エフェメラル(春の儂い命)」と呼ばれています。

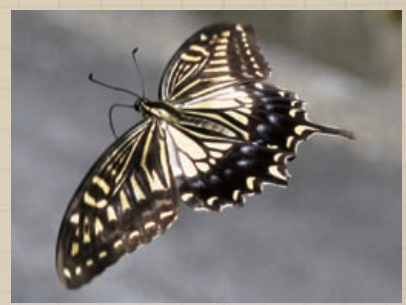
スプリング・エフェメラル

アゲハチョウの仲間
ギフチョウはアゲハチョウの仲間です。ハネの模様や後翅の突起などは、アゲハ(ナミアゲハ)やキアゲハと似ています。
ほぼ日本全土に分布しているアゲハは人家の周りでもよく見られる、わたしたちにとって馴染み深い蝶です。
ギフチョウはアゲハに比べると小さく、ハネを広げた状態で5センチほどしかありません。
日本にはギフチョウの仲間はもう一種、ヒメギフチョウが北日本に分布しています。

アゲハチョウの仲間



キアゲハ
成虫期は、4月～10月。年に1～4回発生します。ハネはアゲハよりも鮮やかな黄色。(写真はハネの裏側)



アゲハ(ナミアゲハ)
成虫期は、3月～10月。年に2～5回発生します。ハネは薄いクリーム色。

※羽化する季節(季節型)により、斑紋、大きさに違いが生じます

幼虫の食草



4月初旬頃のヒメカンアオイ。紫褐色の花(写真のほぼ中央)の左側には、二つに折られたままれた若葉がのぞいています。



ギフチョウは芽吹いたばかりのヒメカンアオイの若葉を探して、葉の裏側に卵を産み付けます。

ギフチョウと里山の環境

ギフチョウが好む環境は雑木林の里山です。春、落葉樹の林は林床によく日が当たることのできる環境でギフチョウは成長します。夏には葉が茂り、涼しい木陰ができる環境でギフチョウは成長します。

伊賀地方のギフチョウの産地である里山には、幼虫の食草であるヒメカンアオイが自生しています。ヒメカンアオイは常緑の多年草で、カンアオイ類の中では小

型です。葉の長さは5〜8センチでハート型をしています。伊賀地方にギフチョウが生き残っているのは、この地域の里山にヒメカンアオイや、蜜源植物^{みつげん}が育つ、ギフチョウが最も好む環境が残っていたからだと考えられます。

昔は雑木林をつくるコナラ・クヌギなどは薪や木炭として燃料に、落ち葉などは堆肥や肥料にして利用されていました。人々の暮らしによって、里山の自然環境の多様性が維持されてきたものであるといえます。今では里山の手入れがされなくなり、暗くなった林の中では、ギフチョウが生息できる環境が少なくなっていました。

里山の「蜜源植物」

みつげん

ギフチョウが活動する春の時期に咲き、蜜を提供してくれます。

- ① タチツボスミレ ② ヒメオドリコソウ ③ カキドオシ ④ コバノミツバツツジ ⑤ ソメイヨシノ



減少するギフチョウ

かつては多くあったギフチョウの産地は、近年の農業形態の変化や廃農による里山の荒廃さらに工場・住宅地造成などの開発によって、今では狭い範囲に限られてきています。

そこで毎春、加納さんたちは成虫の飛翔・産卵などの生息調査を行っています。

また、残されたギフチョウの産地において、ヒメカンアオイの生育を妨げる下草を刈りとしています。作業前は草が生い茂り、人が歩くのもままならなかつ



下草刈りの作業を行う「伊賀ふるさとギフチョウネットワーク」とボランティアのみなさん。

た状態でしたが、作業が終わると、地面にはヒメカンアオイの葉が顔を出しているのを見つけることができます。手つかずの里山よりも、ある程度、人の手によって管理された里山であることが、ギフチョウをはじめとする他の生物を守ることにもつながるのです。

保全活動「下草刈り」

この産地一帯は、10年程前までいくつかの畑があったそうです。今は使われていない農地が増えたため、定期的に下草刈りを行っています。



下草刈り前



下草刈り後

います。使用されていない農地で蜜源植物であるレンゲを育てたり、ギフチョウの産地におけるヒメカンアオイが減少していることから、栽培し、増やす試みも始めています。

郷土の自然を守る

限られた地域のなかで細々と残る伊賀地方のギフチョウは、いつ絶滅してもおかしくない危機的な状況におかれています。

「これから訪れる人々のためにも、郷土の自然財産が消滅してしまうのを見ていられなかった」



ギフチョウが天然記念物に指定された際、設置した看板。採集者への自粛を促す目的で設置されました。また、ギフチョウ保護の啓発を図るため、市民向けの観察会や小学校での課外授業なども行っています。

写真提供：「伊賀ふるさとギフチョウネットワーク」

と話す加納さんの言葉の中には、諦めずに守っていくこうとする強い想いが感じられました。将来に伊賀地方のギフチョウを残していくこうと今後も継続的な活動が続けられます。

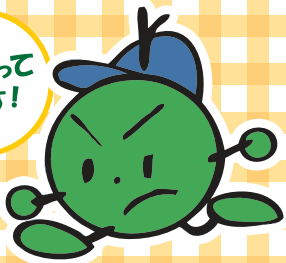
三重の天然記念物

「環境学習みえ」では、「三重の天然記念物」を特集してきました。

希少な生物が残されている地域は、豊かな自然環境に恵まれているといえます。天然記念物をはじめとする豊かな自然をこれからも引き継いでいくために自然との関わりについて考えていただけたらと思います。

みんなで、守ろう！活かそう！三重の文化財
「天然記念物」三重県教育委員会ホームページ
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/bunkazai/about/tennen.htm>

がんばって
います!



こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

イオン明和チアーズクラブ (多気郡明和町)

- ・会員数 36名
- ・サポーター数 1名
- ・クラブの構成 イオンチアーズクラブ
- ・代表サポーターの東谷さんに聞きました



どのような活動を
していますか?

テーマは決まっています6つあります。それは・ごみ・リサイクル・資源(エネルギー)・太陽と自然・植物・動

明和店は二〇〇五年に5人で活動を始めました。その後、何人か増えたり、減ったりで今は36人です。サポーターはひとりです。お店の近くの山や川、海や里で活動していますが、その年のテーマで遠いところへも出かけます。



写真①明和町大淀海岸のごみ拾い



いつどのよう
にできたのですか?

イオンでは随分前から「エコクラブ」として活動していましたが、人数が増えてきた事もあり、発展的に名称をかえて「チアーズクラブ」となりました。

海のごみはどの海岸もよく似ていて、砂に埋もれている漁網やロープ、ペットボトルや家庭のプラスチックゴミ、拾つと中からさびた水が出てくるビールやコーヒの空き缶。そして9月、ごみ拾いばかりでなく、どうしたらごみが減るかという

写真②松阪市松名瀬干潟の観察とごみ拾い



今年のテーマは
ごみ

物(生き物)です。毎年ひとつずつのテーマですが、今年は7年目なので「ごみ」について活動をしています。4月から11月までに月1、2回集まり、明和店の裏側を見てごみの仕分けを見学したり、地元の方たちと一緒に海がめが産卵に来る大淀海岸を掃除したり、三重県でも貴重な植物がある松名瀬海岸を指導員の木原さんと歩いて観察したり、ごみ拾いをしたりしました。



どのようなことを
子どもに伝えたいですか?

津波や台風のあとのように大量のガレキごみも大変な事ですが、私達の生活の中から発生する「いらぬい物」を、どんな分別をするかでごみになったり、資源になったりしますね。それを各自考え、行動してほしいのです。どうか地球が長持ちしますようにとやさしい気持ちで...



写真③ごみの出ない「エコクッキング」
『100のごみも、家庭のひとつから』

事で、楽しいのに、ためになるエコクッキングをしました。指導してくださいましたのは、地元の食事改善グループの皆さんです。作るのも食べるのも、男子会、女子会に分かれてとても楽しいひとときでした。

こども エコクラブとは

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは
環境学習情報センターまで

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。



こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」
<http://www.j-ecoclub.jp>



かんきょう川柳

私たちのあっとエコ

募集締切迫る! 2012年1月15日(日)

22年度 小・中学生の部 最優秀賞作品

自然、地球温暖化、環境汚染、ごみリサイクル、省エネなど…みなさんが普段、身の周りで取り組んでいる「ちょっとした環境活動・エコ」についての川柳を募集しています。

[応募方法] 作品(1人2点まで)・氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号を記入して、FAX・郵便・メールにてご応募下さい。ホームページからも応募できます。

[賞] 最優秀賞…小・中学生の部、高校生・一般の部それぞれ1点:賞状と副賞(図書カード1万円分) そのほか優秀賞、入選作品にも賞状と副賞をご用意しています。 ※詳しくはセンターホームページをご覧ください

ゴミ分ける
私は流しりの
は分け人

環境活動のPRができる!

今月の企画展示



9月 鈴鹿市鼓ヶ浦公民館 おじさんセミナー

「鈴鹿市鼓ヶ浦公民館おじさんセミナー」は鈴鹿市鼓ヶ浦小学校区に住む、退職された方々でつくるサークルです。現役だったときの知識を活かしながら、伊勢湾の生物多様性の保全に取り組み、「魅力あふれる海」を次世代に繋いでゆく活動をされています。

日頃は海浜の自然を学んだり、ゴミ集めをしたり…また、海浜植物群落内の広い範囲にわたり繁茂している、アツバキミガヨラン(通称ユッカラン)の除去活動もしています。

展示では、H22年度鼓ヶ浦小学校4年生との共同作品である、円筒形の魚群のオブジェ(直径1.2m・高さ1.5mの迫力ある力作)を置いていただきました。本当に海の中を思わせる力作で、来館者にも好評でした。



10月 キャンドルナイト四日市 実行委員会

昔の夜は、天気が良ければ星が満天に輝き、月が照っている光景は当たり前でした。しかし、今、星空を見てもあまりきれいでないのは、夜も人間が活動するために人工的に「昼」を作っているからです。

「夜の街の明かりを減らしたい」という思いから、「100万人のキャンドルナイト」に賛同し、四日市では2003年から取り組み始めました。

たった2時間程度電気を消すことで、CO₂をどれだけ減らせるのか?ということよりも、イベントに参加した人達が電気消費を減らすことを考えるきっかけになれば…というのが狙いです。

2011年は12月23日に四日市・諏訪公園で行われます。



11月 三重県環境学習情報センター

3月に展示ホールがリニューアルオープンしたので、講座のPRも兼ねて展示をしました。

展示ホールは「水」「地球温暖化」「ごみ」「生物多様性」「森林」「四日市公害」のコーナーに分かれていて、目でみるだけではなく、触ったり、試したりして楽しみながら学べる内容になっています。

展示コーナーではクイズ形式のワークシートを使った見学も行っています。展示コーナーごとにあるヒントを見て、答えを書きこんでもらい、最後に答え合わせをします。とても興味を引く内容になっていると好評です。ぜひ、社会見学などにご利用ください。



ようこそ!&訪問しました

10~11月

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習の受け入れを行っています。

| 環境学習情報センターに来館してくれた小・中学校 | |
|-------------------------|--|
| 東員 | 神田小学校(4年)、稲部小学校(4年) |
| 菟野 | 菟野小学校(4年) |
| 鈴鹿 | 庄野小学校(4年) |
| 四日市 | 河原田小学校(4年)、八郷西小学校(4年) |
| 伊賀 | 西柘植小学校(3・4年)、中瀬小学校(4年) |
| 津 | 大里小学校(4年)、西が丘小学校(4年)、一身田小学校(4年)、豊津小学校(4年)、神戸小学校(4年)、上野小学校(4年)、豊が丘小学校(4年)、白塚小学校(4年) |
| 名張 | 梅が丘小学校(4年)、百合が丘小学校(4年) |
| 多気 | 勢和中学校(1年) |
| 京都 | 同志社国際学院(小学3年) |

| 環境学習情報センターが訪問した小・中学校 | |
|----------------------|--|
| いなべ | 石榑小学校(6年)、阿下喜小学校(4年) |
| 東員 | 神田小学校(4年) |
| 四日市 | 常磐西小学校、羽津小学校(5年) |
| 伊賀 | 三田小学校(4年) |
| 津 | 豊が丘小学校(4年)、豊津小学校(3年)、神戸小学校(3年)、栗葉小学校(1・2年) |
| 松阪 | 松江小学校(3・4年) |
| 志摩 | 安乗小学校(2年) |

講座NEWS

講座内容は、都合により変更になる場合があります。

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

| | | |
|-------------------|----------------------|-----------------------------|
| 学校の先生の場合 | 地域NPOの場合 | 自治体の場合 |
| 2～3時間の研修にご利用ください。 | メンバーのレベルアップにご利用ください。 | 市町での環境活動を増やすキッカケ作りにご利用ください。 |

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

| 講座名 | 開催日 | 開催場所 | 申込締切 | 内容 |
|--|---------------------------------|----------------------|--------------------------------|--|
| 環境学習指導者養成 環境学習リーダー養成講座 ～ファシリテーター養成コース～ | 2月19日(日) 2月25日(土) 3月3日(土) | サン・ワーク津 | 1月24日(火) | 環境学習の流れのあるプログラムを体験し、プログラムも考えます。3日間で1講座です。 |
| 環境学習指導者養成 プロジェクト・ワイルドエデュケーター養成講習会 | 3月10日(土) | 松阪市嬉野ふるさと会館 | 2月8日(水) | 動物を中心とした環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」の指導者養成講習会です。 テキスト代4,000円必要 |
| スキルアップ「利己的な遺伝子 ～遺伝子からみた行動の進化～」 | 2月4日(土) | フレンテみえ | 1月10日(火) | 浮気の報酬～雄と雌～ |
| 野鳥観察会～冬編～ | 1月22日(日) | 三重県上野森林公園 | 申込期間 12月23日(金) ～1月13日(金) | 冬の里山の野鳥や池のカモを観察します。申込期間中に先着順で受付。申込先:三重県上野森林公園 |
| 子ども環境講座 「エコ・クッキング」 | 1月28日(土) | 鈴鹿市玉垣会館 | 1月5日(木) | 地元でとれた豆を使って豆ごはん・とうふ・おからを作ります。 |
| 子ども環境講座 「ネイチャークラフト」 | 2月4日(土) | 四日市市勤労者・市民交流センター本館1階 | 1月14日(土) | 自然の中にも、おうちの中にもかわいくなって捨てられないものがいっぱい!松ぼっくりやヤシチャップシ、包装紙やリボンなどを使って工作します。先着順。 |

センターへの来館・出前講座などで使える 環境講座

PICK UP

エコソング「うたおう&おどろう」



対象：3歳～小学1年生（人数：10名以上）
時間：30分程度（1曲15分程度～）

エコソングは歌い、踊りながら子どもたちの環境に対する意識を高めるものです。環境のお話をした後に、ダンスを踊ります。体操が出来るスペースがあれば、屋内でも屋外でもできます。曲は地球温暖化防止に取り組む「みんなでへらそうCO₂」、リサイクルについて考える「おいしくのんでリサイクル!」の2曲からお選び下さい。（両方でも可能です!）

また小学生以上は、三重県が目指すごみゼロ社会について楽しく学べる「ごみゼロソング」もあります。

まだある! 環境講座

水質チェック、大気調査講座、自然体験、ごみ・リサイクル講座、買い物ゲーム、風呂敷活用講座、水生生物調査、環境を考える消費者講座、地球温暖化防止と省エネルギー、など

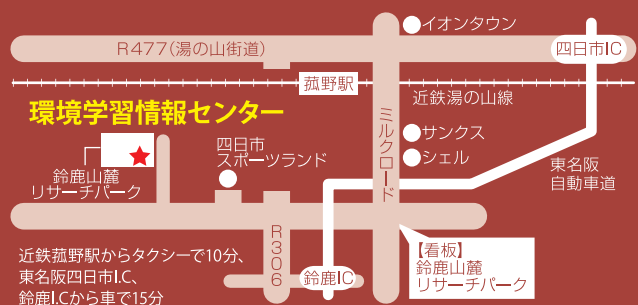
学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境講座」をご利用下さい。各講座ともセンターでの開催、各地に出前での開催が可能です。講座内容につきましては、ご希望に合わせ相談させていただきます。お気軽にご連絡下さい。

※原則として、希望日の1カ月前までにご連絡ください。出前講座については使用する消耗品のご準備をお願いしています。

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11(地番変更しました。郵便はこちらまで)

| | |
|------|------------------------------------|
| Tel | (059) 329-2000 |
| Fax | (059) 329-2909 |
| Mail | info@eco-mie.com |
| HP | http://www.eco-mie.com |
| 開館日 | 1月4日～12月28日まで (12月29日～1月3日まで休館) |
| 開館時間 | 午前9時～午後5時30分 |
| 入館料 | 無料 ※お気軽にお越し下さい |



講座予定

環境講座